

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 10名回答、回答率 100%
保護者様： 17名回答、回答率 77%

職員の意見

○環境・体制整備

出入口やトイレなどに段差がある等、バリアフリー化が十分ではないものの段差カバーを付けることで対応している。職員の配置に関して、法令上必要な人員は配置されているものの障がい特性を考えると日によって十分ではないと感じる部分もある。

○業務改善

業務改善の為のPDCAサイクルに関して、計画して行われていてもチェックし、精査する場面が十分とは言えない。第三者による外部評価は、事業所としては行なっていないが、法人として第三者評価を受審しているため今後受審していきたい。

○適切な支援の提供

活動プログラムの立案は責任者が行うことが多い。また、低学年の児童と中学生が混在している為、活動内容の幅が広がるようにしている。支援開始前には必ず打ち合わせを行ない、各自気付いた点を共有している。支援終了後にも職員間で打ち合わせを行ない、その場に居なかった他の職員にも共有するようにしている。

○関係機関や保護者との連携

サービス提供記録、送迎時、電話にて、日々保護者と意思疎通を図り、情報共有をしている。今後は学校との情報共有にも力を入れていきたい。また、長期休暇時に課外活動で地域の子どもと接する機会をもつよう努めている。

○保護者への説明責任等

保護者会を定期的開催している。子どもの状況に関して、サービス提供記録や送迎時、電話等を利用して保護者と共通理解を持つよう努めている。また、子どもや保護者の要望、苦情について、教室として迅速な対応を心掛けている。

○非常時等の対応

月に1度、地震や火災、水害等、様々なケースを想定し、避難訓練を行っている。また、虐待防止に関しても事例を取り上げ、検討会を行なっている。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

少々狭い気もしますが、都内なので仕方がないのかもしれませんが。もう少し広い、又はもう一部屋あって、子どものその日の状態で活動場所を選べるとより良いです。

バリアフリーに関して、教室内は良いのですが、段差があり、車いす等は自力では上がれそうにないです。

○適切な支援の提供

学齢やライフステージに合わせた支援や情報提供があると助かります。障害のない子どもとの交流については特に希望はしません。

○保護者への説明等

連絡帳や面談を通して、コミュニケーションはとれています。

保護者会に関しては土日の設定もお願いします。

○非常時等の対応

非常時対応のマニュアルがあることは知っていますが、実際に見たことはありません。一年に一度、非常時の対応について両者確認の場があった方が良いかもしれません。

○満足度

毎日大変楽しみにしています。休みの日の朝はまず「スマートキッズか？」と聞かれ、違うことがわかると肩を落とすほどがっかりします。それほど通所が大好きです。仲の良い友達もできて、スタッフの方とも楽しく交流できているようです。

教室での様子等、送迎の際に細かく説明してくださるので、とても満足しています。現場の方の支援には大変満足していますが、子どもが話せない為、実際にどのように過ごしているのか分からない部分はあります。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・支援の視点の幅を広げ、療育や支援を検討していく
- ・スタッフ間で療育に関して話し合う場を作り療育の幅を広げる
- ・危険と思われる個所や段差等の修繕
- ・ブログの分担
- ・保護者の出席しやすい日程での保護者会の設定
- ・保護者の意見を聞ける機会の設定、システムの構築

○改善できた点・まだ残る課題

日々の療育や支援について、職員間で検討する時間の確保し、幅を広げることにはできている。

一方で、ブログの更新や保護者会の日程の設定等は引き続き改善していかなければならない。



アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・質の高い支援を提供できており、利用している児童とその保護者からの満足度は高い。
- ・サービス提供記録や送迎時等、保護者と職員間でのコミュニケーションは十分に取ることができている。
- ・職員間の連携が取れており、情報共有もできている。

○改善点

- ・教室のバリアフリーの強化
- ・保護者が参加しやすい保護者会日時の設定
- ・保護者とのより密な情報共有
- ・定期的なブログの更新
- ・苦情対応の体制整備



中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・療育の質の向上
- ・可能な限りでのバリアフリー化、環境づくり
- ・定期的なブログ更新

○1年間で取り組む具体策

- ・支援後のミーティングを必ず行い、スタッフ間で療育に関するPDCAサイクルを回すことで支援の視点の幅を広げていく。
- ・危険と思われる個所や段差等の修繕を行なう。
- ・月に2件のブログの更新を行なう。
- ・事前に参加可能な日程を伺い、より多くの方が参加出来る日程での保護者会の設定。また、保護者会の中で質疑応答の時間を多く設ける。

スマートキッズ